

映画祭 一般上映始まる

豊橋 国内外の新旧作品集う

映画を愛する豊橋市の住

民が企画運営する「第十八回とよはしまちなかスロ―タウン映画祭」の映画上映が二十五日、同市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで始まっ

た。

映画祭は十九日から始まり、国内外の新旧作品の上映やトークイベント、音楽ライブなどが予定されている。映画上映初日は、午前十時からのアカデミー賞を



整理券を求め、開場前から長い列を作る人たち＝豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで

受賞したコメディ映画「グリーンブック」(二〇一八年)に合わせ、開場一時間前から約百人が列を作った。会場に展示された映画のポスターを背景に記念写真を撮る人も。二百六十六席の会場はほぼ満席で、熱気に包まれた。

同市東田町の主婦川原智子さん(六〇)は「(期間中に上映される)十六作品分の通し券を買った。映画が手軽に見られるので、毎年本当に楽しみにしている」と笑顔。映画祭実行委員会の石川誠会長は「古い映画を大きなスクリーンで見る機会は少ない。映画の醍醐味を感じてほしい」と話した。

映画祭は来月二十三日まで。◎映画祭実行委＝0532(52)9980

(昆野夏子)